

特集

諏訪湖周グリーンセンター (愛称:ecoポップ) 12月本格稼働開始！ 湖周地区12万人の、ごみ共同処理が始まります。



岡谷市の6つの重要施策のひとつに位置付け、岡谷市、諏訪市、下諏訪町の2市1町で整備を進めてまいりました、諏訪湖周グリーンセンター(愛称:ecoポップ)整備工事が、7月から行っている試運転で機器の安全性や性能などの確認を終え、いよいよ12月から本格稼働を迎えます。

湖周地区におけるごみ処理を広域的に行うために、平成17年に湖周地区ごみ処理基本計画を策定し、平成23年9月には湖周行政事務組合設立、環境影響評価(環境アセスメント)を行い、平成26年9月から整備工事に着手し、約2年の年月をかけて完成いたします。

旧岡谷市清掃工場跡地に完成した諏訪湖周グリーンセンターは、排ガス処理をはじめ、防音・防臭にも配慮をした最新技術と最新鋭の設備を導入し、安全・安心で安定的な処理を第一に運転管理する環境に配慮した施設となっております。また、エネ

ギーの有効利用の観点から、ごみの焼却時に発生する熱エネルギーを回収し、発電を行うことで、化石燃料を利用した火力発電に対し、年間5440tのCO₂の削減にも寄与します。

限りある地球資源を守り、より良い環境、住みやすいまちを次世代に引き継ぐため、循環型社会への転換を進めています。

諏訪湖周グリーンセンターの本格稼働を契機に、市民一人ひとりそれぞれの事業者が、自ら環境保全の担い手であるとの自覚を持ち、環境にやさしいライフスタイルづくりや、ビジネススタイルの転換を進め、環境配慮への取組にご協力をお願いします。

本施設の建設に際し、ご協力いただきました関係各位並びに地元の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも、地域住民の安全と良好な生活環境に配慮した施設運営に努めてまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

岡谷市長 今井 竜五

諏訪湖周クリーンセンター建設の道のり

◆平成14年3月

諏訪圏域6市町村でゴミ処理広域化計画策定

◆平成15年9月

「湖周地区(岡谷市・諏訪市・下諏訪町)」と「諏訪南地区(茅野市・富士見町・原村)」の2地区でのゴミ処理広域化に方針変更

◆平成17年3月

湖周地区ゴミ処理基本計画を策定し、稼動目標年度を平成23年度に設定。施設規模を136t/日、施設建設場所を岡谷市清掃工場敷地に決定

◆平成21年3月

湖周地区ゴミ処理基本計画を修正し、稼動目標年度を平成27年度、施設規模を120t/日に変更

◆平成23年9月

湖周行政事務組合を設立

◆平成23年12月

湖周地区ゴミ処理施設処理方式検討委員会においてゴミ処理方式を「ストーカ方式」に決定

◆平成24年8月

湖周地区ゴミ処理基本計画を修正し、稼動目標を平成28年9月、施設規模を110t/日に変更

◆平成25年3月

施設名称を「諏訪湖周クリーンセンター」、愛称は公募にて「ecoポッポ」と決定

◆平成25年10月

事業者選定委員会にて、プロポーザル方式により「諏訪湖周クリーンセンター整備工事事業者」を選定

◆平成25年11月

環境影響評価書(環境アセスメント)策定 公告、縦覧

◆平成26年1月

岡谷市清掃工場解体、敷地造成工事着手

◆平成26年8月

工事説明会および安全祈願祭・起工式

◆平成26年9月

諏訪湖周クリーンセンター整備工事着手

◆平成27年7月

本格稼動開始を平成28年9月から平成28年12月へ変更

◆平成28年7月

諏訪湖周クリーンセンター試運転開始

◆平成28年9月

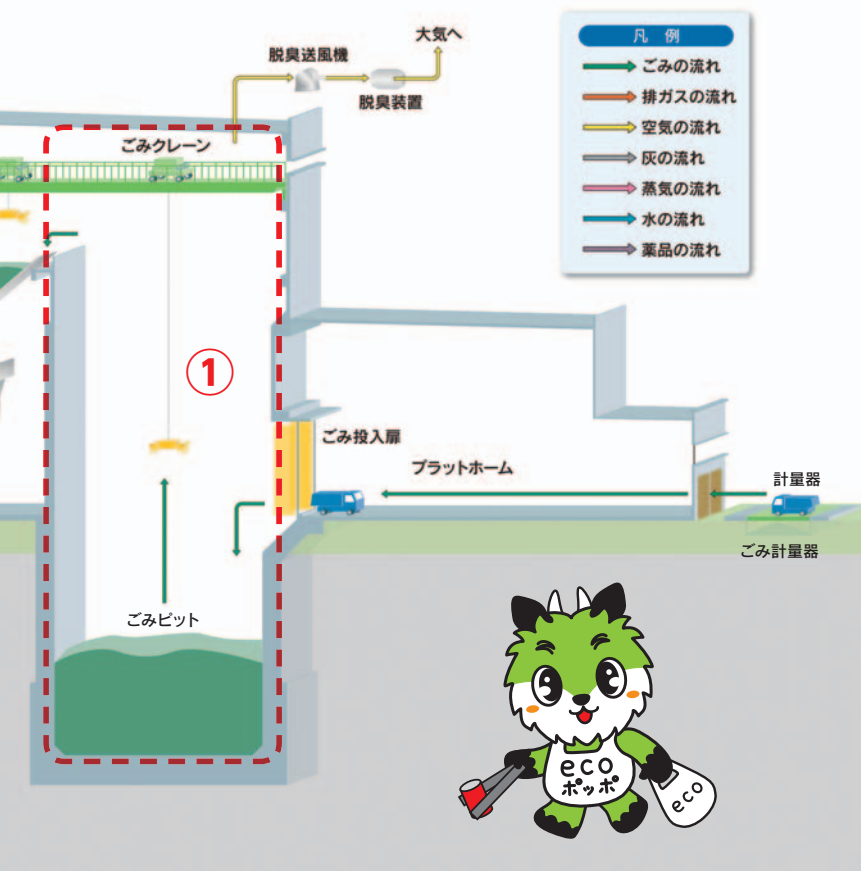
諏訪湖周クリーンセンターから排出される焼却灰の共同処理を開始

◆平成28年12月

諏訪湖周クリーンセンター本格稼動開始予定

たちのごみは、どのように処理されるの？

①ごみピット・ごみクレーン

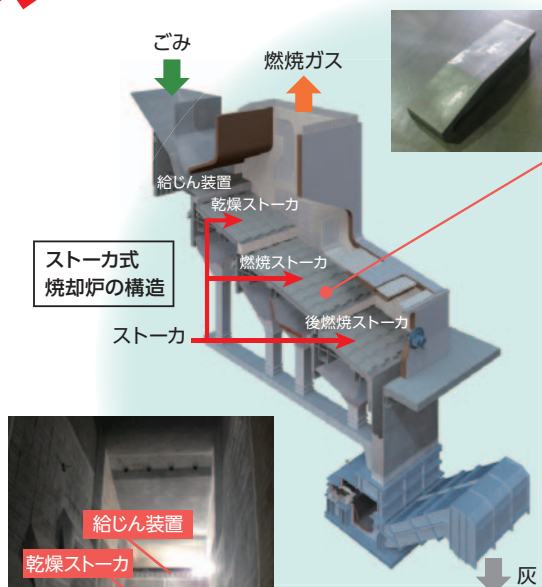


燃やすごみを、一旦ピットに貯めて、ごみクレーンで攪拌を行い、燃やすごみを均質化してから、焼却炉に入れる設備です。

ごみピットの容量は、3,850m³あり、岡谷市・諏訪市・下諏訪町で発生する燃やすごみを、約7日分貯めることができます。



②ストーカ炉



ストーカ(火格子)は、焼却炉の底にあります。燃やすごみは、火格子の上をゆっくりと移動し、完全燃焼します。



ストーカ(火格子)は、ごみの燃える高温にも耐えられる鋳物でできています。

燃焼が安定しており、自動化・運転管理が容易なことが特徴です。(ごみ投入から燃え切りまで約90分)



焼却炉内でのごみ燃焼

スマホで
QRコードを読み取ると、
動画が見られるよ！

ごみの搬入から
投入までの
ようす



ecoポッポ
これまでの
歩み



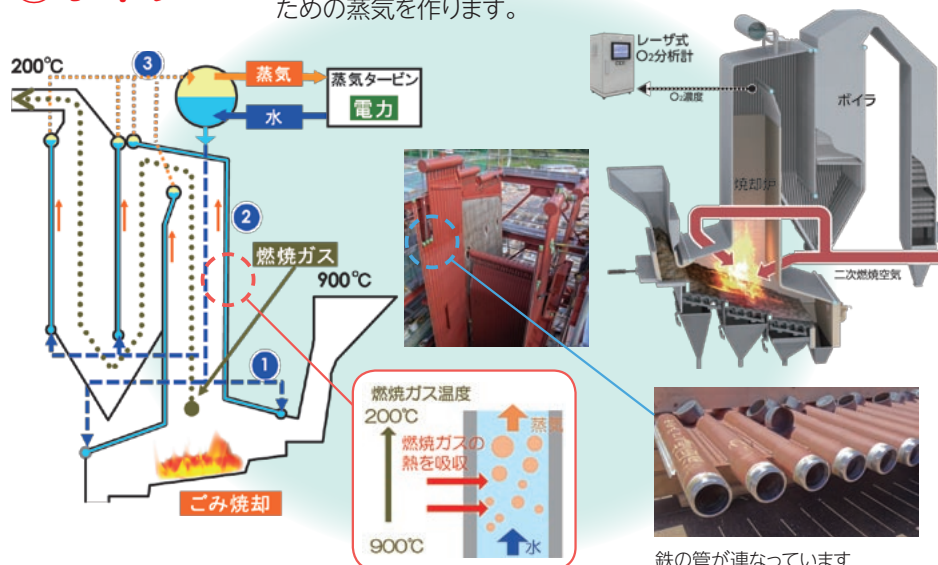
動画を見るには…

- ① スマホや携帯電話のバーコード読み取りアプリを起動して、カメラでQRコードを読み取ります。
- ② 読み取りに成功すると、YouTubeのリンク先URLが表示されますので、そのリンクをタップ！
- ③ 動画が再生されます。

※動画はファイル容量が大きいのので、通信料にご注意ください。Wi-Fiなどの環境からのアクセスを推奨します。

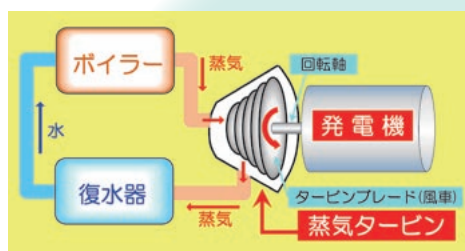
③ ボイラー

燃やすごみの焼却によって発生する熱を吸収して、発電のための蒸気を作ります。



④ 蒸気タービン発電機

蒸気タービンは、蒸気を利用して発電する設備です。蒸気の力でタービン（風車）を回転させ、発電します。



- 発電量：約1,500万kWh/年
(一般家庭約4,100軒分)
- CO₂削減量：約5,500t/年
(自動車の排気ガス換算で約2,400台分)

タービンブレード（風車）



回転する力を電気にします。
(自転車のライトと同じ仕組みです)



蒸気タービン



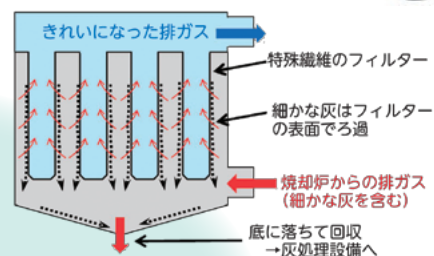
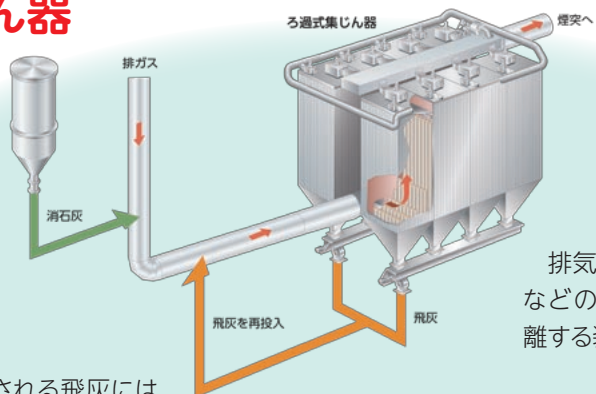
発電機

⑤ ろ過式集じん器

排ガス中の有害物質を確実に除去するとともに、ライフサイクルコストの低減に寄与します。

飛灰循環システム

ろ過式集じん器で捕集される飛灰には、ばいじんや反応生成物に加え、消石灰が一部、未反応の状態で含まれます。この飛灰を、ろ過式集じん器に再投入することで、従来は廃棄していた未反応薬剤の有効利用が可能です。この技術により、消石灰使用量を低減できるとともに、最終処分量の低減も実現します。

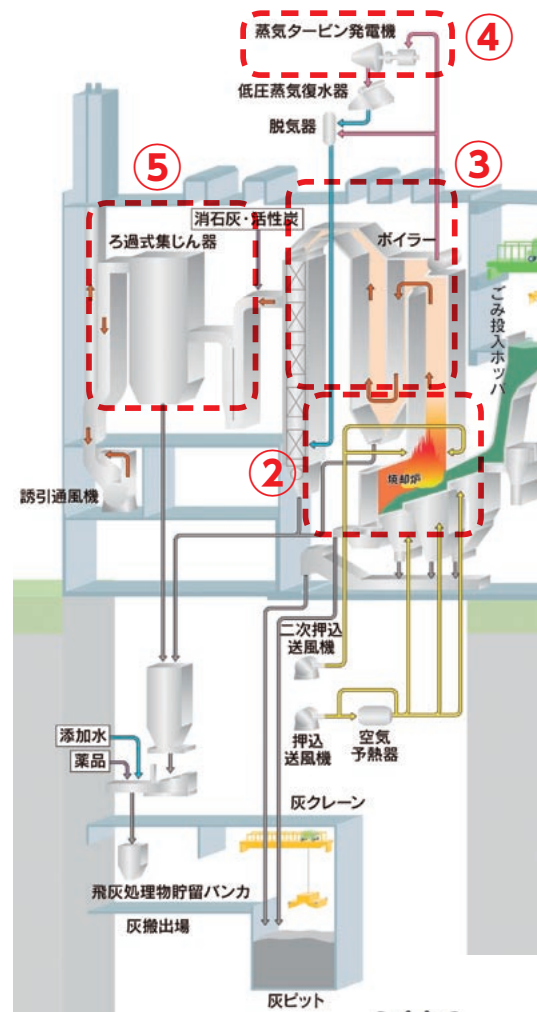


排気ガス中のすすや粉じんなどの粒子を、気体から分離する装置です。



特殊繊維のフィルター（ろ布）。
1・2号炉あわせて432本あります

わたし



これが最新の
ごみ処理システム
なんだね

